

「臨床整形外科」最優秀論文賞 2014 発表

このたび、「臨床整形外科」最優秀論文賞を設け、整形外科領域に関する独創的で優れた論文を表彰することとなりました。昨年1年間(2014年, 49巻)に掲載された投稿論文を対象に、編集委員会による厳正な審査のもと、下記論文の受賞が決定いたしました。

「腰部脊柱管狭窄における除圧術の手術成績と BS-POP による精神医学的問題評価との関係 —BS-POP の手術前後での変化に着目した前向き研究—

加藤欽志・他(福島県立医科大学)

49巻2号: 123-129, 2014

■審査講評

脊椎手術の術後成績と精神医学的問題評価との関連を検討することは近年、重要なトピックになってきている。本論文は治療者側、患者側双方の視点から検討を行った点が独創的で、さらに前向きに評価を行っている点からも、研究デザインに優れた非常に有意義な論文と考える。

■受賞のことは

このたびは「臨床整形外科」最優秀論文賞 2014 に選出いただき誠にありがとうございます。本研究では、当科で開発した精神医学的問題を簡便に評価できる質問表 Brief Scale for Psychiatric Problems in Orthopaedic Patients(BS-POP)を用いて、腰部脊柱管狭窄の患者における手術前後の精神医学的問題の変化と手術成績の関係を検討しました。本研究の結果、第1に、術前に指摘された精神医学的問題の約7割は、手術治療によって改善する可逆的な問題であること、第2に、術前に指摘された精神医学的問題が術後も残存することが手術成績の悪化につながることで、以上の2点が新たな知見として提示することができました。

本研究は、福島県立医科大学整形外科脊椎スタッフと後期研修医による日々のデータ集積と、菊地臣一理事長、紺野慎一病院長、矢吹省司教授、大谷晃司教授、二階堂琢也講師、渡邊和之助教のご指導の賜物と考えております。この場をお借りして感謝の意を表したいと存じます。



加藤欽志氏

本論文は、2015年4月1日から2016年3月31日まで1年間、医学・看護の電子ジャーナルサイト MedicalFinder 内において無料で閲覧いただけます。

受賞者には賞状と金一封、1年間の本誌冊子版と電子版閲覧権を贈呈します。なお、「臨床整形外科」最優秀論文賞 2015 は、50巻1〜12号(2015年)の掲載論文が対象となります。奮ってご投稿ください。